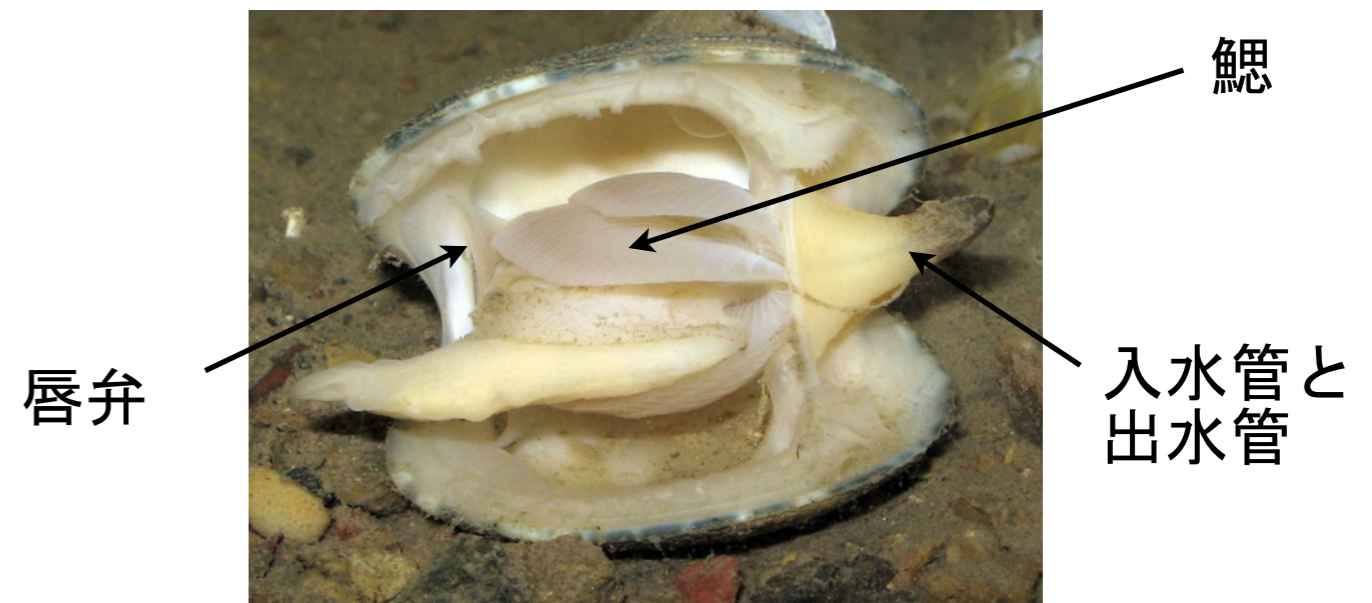


- 1) スーパーで売っている活きアサリを用意します。
- 2) 2つのコップに濁った海水をいれます。  
(海水に干潟の泥を加えて作ります。米のとぎ汁を加えても良いです。)
- 3) 1つコップにアサリを入れ、もう1つのコップには何も入れません。
- 4) 30分後、2つのコップはどうなるでしょうか？



アサリは、入水管から海水を取り入れ、鰓と口（唇弁）で好みの粒子とそうでない粒子を選り分けます。

口に入った餌は消化され、きれいな糞となります。口に入らなかった粒子は偽糞（ぎふん）として捨てられます。糞や偽糞は干潟の泥に混じって、泥を食べる生物（堆積物食者）の餌となります。